

"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs



Chartered April 11.1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Yoshitaka Hukuhara 〒659-0023 14-20-714 Kusunoki-cho Ashiya  
Hyogo.JAPAN  
Mail : y-fukuhara@ae.auone-net.jp Tel 0797-38-8332

## 主 題

国際協会会長 IP Isaac Palathinkal  
言葉より行動を Theme: Talk Less, Do More  
アジア地域会長 岡野泰和  
未来を始めよう、今すぐに Start Future Now  
西日本区理事 松本武彦  
響きあい、ともに歩む  
To walk together, echoing each other  
六甲部部長 多胡葉子  
あなたとわたしの Y's ダムを YMCA とともに - コース、交流、地域 -  
Y's dom is yours and ours. Let's share it with YMCA  
Youth, Friendship and Community -  
芦屋クラブ会長 福原吉孝  
ハツラツと爽やかなワイズの活動を地域社会に広げよう  
Let our actions Shine in the Community!

## 今月の聖句

はっきり言うておく、一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが死ねば、多くの実を結ぶ。自分の命を愛する者は、それを失うが、この世で自分の命を憎む人は、それを保って永遠の命に至る。 <ヨハネ福音書 12:24~25 >

## 3月第1例会

とき 2015年3月15日(水) 19:00~21:00  
ところ ホテル竹園芦屋1階「ラ・ルー」  
司会 篠坂幸彦ワイズ  
受付 坂東幸子ワイズ 桑野友子会計  
1. 開会点鐘 福原吉孝会長  
2. クラブソング斉唱 一同  
3. 聖句朗読 羽太英樹ワイズ  
4. ゲスト・スピーカー紹介 上野恭男ワイズ  
5. ゲストスピーチ 田辺真人園田学園女子大学名誉理事  
演題 「芦屋の風土と歴史から」  
6. 食前感謝 島田 恒ワイズ  
7. ゲスト・ビジター紹介 篠坂幸彦ワイズ  
8. 報告・協議事項 福原吉孝会長  
第2例会議事録の承認と今後の予定  
9. YMCAニュース 藤田良祐連絡主事  
10. 誕生日お祝い 大澤二郎、藤川晃成、柏原佳子ワイズ  
11. 閉会点鐘 福原吉孝会長

会 長 福原吉孝  
直前会長 羽太英樹  
副 会 長 五十嵐政二・堤 清  
書 記 柏原佳子・羽太英樹  
会 計 桑野友子  
監 事 田舎庸男  
連絡主事 藤田良祐  
六 甲 部 羽太英樹 (広報主査)  
上野恭男 (六甲部監事)

3

March, 2015  
214号

## 留学生交流会と芦屋クラブ

会長 福原 吉孝  
今年もブルーミンモードで神戸YMCA留学生との交流会が賑やかに開催された。  
中国、台湾をはじめ留学生が33名、中高生14名と最高参加人数となった。メンバーが奔走して準備した料理が、どっさりと並べられ絶好のセッティングとなった。日本の中高生にとって外国留学生と話す機会はめったにないと想像する。緊張しながらも目をキラキラさせ、英語、中国語など懸命に留学生と会話する姿勢は、何とも微笑ましい。互いに、とてもいい経験で国際交流の意義は大きい。友達に楽しい経験を自慢話として報告していると想像する。  
今年で交流会も節目の10回目を迎えている。  
この交流会のきっかけは、連絡主事から中国に帰らなかった留学生が、春節の乾杯を「1人でしました」と、さびしい話を聞いた柏原佳子ワイズが、留学生の食事会を企画し、渡辺倫子ワイズの協力をいただき、2006年2月に開催したのが最初だそうだ。  
現在、ワイワイ、ガヤガヤと賑やかな恒例行事である。来年もきっと大勢の参加者で楽しい交流の場になるであろう。

## 2月例会出席表

第1例会出席	例会出席率	BF切手	420g
メンバー 14名	出席者 14名	累計	420g
ビジター 0名	メイクアップ 1名		
ゲスト 0名	合計 15名		
メネット 4名	在籍者 18名	ニコニコ	0円
コメント 1名	(広義会員1名)	累計	102,386円
合計 19名	出席率 88.24%		

## 2月第1例会報告

とき: 2月18日(水) 20:15~21:00

ところ: ブルーミンメド

出席:五十嵐(メ・ネット)田舎(メン・ネット)福原(メ・ネット)上野・柏原・桑野・篠坂・島田・都筑・堤・羽太・坂東・藤川・渡辺(各メン)・島中ネット・コメット  
藤田連絡主事

今月は変則で、留学生交流会の後、会場のブルーミングメドで開催された。時間が制限されているため、議事は主として事務例会の趣であったが、開会点鐘と会長挨拶、羽太メンによる聖書朗読とそれに伴うメッセージ、そして五十嵐副会長主導による次期クラブ役員・担当の審議と決定、第二例会での決定事項の承認やYMCAニュース、連絡事項の発表、誕生祝い等が整然と進められた。

次期クラブ役員・担当の決定は難航も予想されたが、メンバーの自主的な申し出によって順調に推移、但し最大の課題である次期副会長(次々期会長含み)の選出は決定に至らず、第二例会以降の決定に持ち越された。

交流会の楽しみの余韻、交流会での残されたフード、上野メンの用意くださった赤ワインも楽しみながらの例会となった。交流会によるYMCAサービスとしての前向きの手応え、渡辺ウイメンのご好意による素晴らしい環境を楽しみ、メンバー同士の交流を楽しみつつ和やかな閉会となった。

島田 恒)

## ホームビジットをしました

2月6日(金)、五十嵐家に台湾の留学生(女性2人、男性1人)が来られるとの事で、私たち3人も招かれ、一緒に五十嵐さんのお点前で和菓子とお抹茶を戴いたり、夕食には、豆乳味と醤油味2種類の具沢山のお鍋をご馳走になりました。

台湾の学生達も最初は少し緊張ぎみでしたが、お鍋をみんなで囲み、英語や日本語、そして身振り手振りで「これ、美味しい!!」「これは何?」など、だんだんと打ち解け、まだまだ寒さを感じる季節でしたが、心も体も暖まった素敵な一日を過ごさせて頂きました。3人の学生たちは、礼儀正しくて私達の話す日本語をすこしでも理解しようと、一生懸命に聞こうとする真摯な姿に、とても好感を覚えました。この交わりは小さなものかもしれませんが、小さな交わりから、お互いの国を認め合う強い信頼関係がうまれて、若い世代たちが仲良く手を携えて歩んでくれることと切に望みます。五十嵐夫妻の私達に気を使わせない、温かい、自然体のおもてなし楽しかったです。

飯田ふみ子

極力、日本語をつかい英語もまぜて楽しくコミュニケーション...そして学生達の前向きな姿に自分の年も忘れ、大いに盛り上がりました。

島田保子

4時頃に迎えて、8時には神戸YMCAまで帰さなくてはならない誠に慌ただしい訪問ですが、この正味3時間余が若い学生達の人生に一しづくでも良い思い出を残してくれたら嬉しい。明るくにぎやかで楽しい一夜でした。謝々!

五十嵐かほる

## 第10回留学生交流会を開催

10年目の会は2月18日にブルーミンメドで開催され、記念すべき会となりました。神戸YMCA日本語学校の留学生が30人訪れてくれたのです。

藤田連絡主事の神戸ユースプラザから中高生14名が参加し、若さをぶつけあった素敵な交流会でした。

柏原佳子書記がメネット主査であった10年前、春節を帰国しないで日本で迎えた中国留学生の話連絡主事から聞き、渡邊倫子ワイズの支援をいただき実現した会です。芦屋クラブにとってYMCAとの接点がこの会を通し実感できると思いますので大切にしていきたいと思います。

留学生の参加者が少ない時もありましたが、10年の時がこの日の隆盛をもたらしてくれたと感謝します。

会は島田恒ワイズの明るい大きな声で18時過ぎに始まりましたが、70人というイベントとなり、我々もボトックが足りるのか、コミュニケーションが十分取れるだろうかと心配しましたが、食は満ち足り、交流は楽しく何の心配も要りません。



全員が一つになれるよう「幸せなら手をたたこう」を皆で歌うよう提案された五十嵐ワイズ夫妻に感謝。別掲の歌詞誕生秘話をご覧ください。なにはともあれ、

中国、ネパール、台湾、韓国、スイスなど多くの国の若者がYMCAで学び、芦屋クラブがサポートできてうれしいです。来年はどんな会になるのが楽しみです。

上野恭男

例年の催事(YMCA留学生交流会)が開催され私は初めて参加した。昨年の倍近い数の留学生の参加があり受け入れ側にとっても嬉しい悲鳴。会長、書記、会計諸氏の適切な準備・調整・分担の指示により各メンバーの協力による77名分の心のこもった数々のボトックが揃ったことはさすがと言わざるを得ない。島田ワイズの軽快な司会・進行に



より各代表の挨拶・お祈り等セレモニーを終えビュッフェスタイルの色鮮やかな料理たちの前にマナーよく整列の様が・・・。



中程では学生達とメンバーがあちらこちらで和やかに「日本の感想、今後の進路等」を・・・あつというまの二時間だったが心地よい爽やかなひとときだった。留学生達のご健闘を祈ると共に、昨年に引続き会場を提供いただいた（レストラン・ブルーミンメドー）の渡辺さまには心より感謝の念を・・・。

篠坂 幸彦

## 留学生交流会に参加して

連絡主事 藤田良祐

今年も、ユースプラザに集う中高生へ留学生や芦屋クラブの皆さまと交流する機会を与えていただいたことを、心より感謝申し上げます。留学生 33 名、中高生 12 名、合計 45 名の若い学生たちの為に、素晴らしい会場と美味しい料理を沢山ご準備いただき誠にありがとうございました。このような若者同士の国や文化を超えた交流が、次世代の世界平和を築いていきかけになると信じています。

以下、参加した中高生からの感想を掲載させていただきます。

前から海外に興味を持っていましたが機会がないなか今回普段は関わることのない海外の人たちとあんなに多くの時間をともに出来たことは本当に良かったです。また料理も美味しくそのおかげでより会話が弾んだように思えます。今回こういった会を開催してくれたワイズメンズクラブと YMCA には感謝しています。また参加したいです。（Sさん高校 2 年生）

私は初めてこの留学生交流会に参加させてもらいました。いろいろな国の方と話ができ他国の文化などを知ることができてとても楽しかったし、仲良くなれたことがとても嬉しいです。これを機に、交流していきたいしこれからも参加したいと思えます（Aさん 中学校 2 年生）

本当にありがとうございました。とっても楽しかったです。お料理も美味しく会話が弾みました。私は、初めて中国の方と韓国の方と喋りましたが日本語がとても上手で喋りやすかったです。時間が経つのが早く感じてもっとたくさん喋りたかったです！喋る人を固定してしまったので沢山の方と喋れなかった事がちょっと後悔しています…。違う国の方と喋れて

とてもよい経験となりました！また来年も参加しようと思えます！

（Fさん中学校 3 年生）

留学生交流会にお招きいただきありがとうございました。少しでしたが、ワイズメンズクラブの方や留学生とお話することができ、楽しかったです。国境に関係無く、人と人との交流は大切だなと感じました。（Hさん高校 2 年生）

今回初めて参加させていただきました。少し緊張していましたが、全然堅い雰囲気ではなく、思っていたよりも留学生が多くて楽しかったです。中国の方と多く話しましたが、皆さん強い意志を持って日本で勉強なさっているのだと感じ、とても良い刺激となりました。ありがとうございました。

（Nさん高校 2 年生）

留学生交流会で五十嵐ワイズが友人の木村利人氏の歌誕生秘話を披露し、みんなで歌いました。

## 「幸せなら手をたたこう」 木村 利人

私がこの曲の作詞をしたのは、早稲田大学の学生であった 1959 年のことである。

当時フィリピンのマニラ市郊外で国際学生ワークキャンプが開催され、私は比韓米独などの学生たちと共にそれに参加し、整地等の労働奉仕をした。

ある夜、フィリピンのキャンプ仲間の一人が涙を流しながら私の手をとって「今度の戦争で父親を失った。日本軍と日本人が憎らしく、どうしても許せなかった。しかし、いま日本人の若い世代の君とこうして平和の中で一緒に仕事をし、汗を流し、心に変化が起きた。過去を許し、未来に向けて悲慘な戦争を再び起こさぬように若いぼくらが誓い合おう」と語ってくれた。

その後、彼が本当に「態度に示して」親切にしてくれたことがいまでも忘れられない。

引き続いての農村復興キャンプの宿舎となったロカオ小学校の校庭でその生徒たちが大声で楽しく歌っていたバンガシナン語の歌のメロディ（後にスペイン民謡曲が原曲と判明）に合うように作詞したのがこの「幸せなら手をたたこう」だ。

「手をたたこう」は聖書の詩編第 47 編の 1 節からヒントを得たものだ。作詞後 5 年経った 1964 年の東京オリンピックの年に大流行し、日本に集まった外国の観光客や選手たちによって歌われ、日本の歌として世界に広まっていった。

平和の幸せを大事にし、手をたたいて喜び、態度に示して手をつなぎ、お互いに助け合おうという願いをこめて作詞した。これは、いまの私の専門分野であるバイオエシックス（生命倫理）の根本にある精神と一つに重なり合っているのだ。きむら・りひと（木村利人）

東京生まれ。16 歳で受洗。早稲田大学大学院を経て 1965 年よりタイ、ベトナム、スイス、アメリカ各地の大学で教授を歴任（専攻・バイオエシックス）。1980 年に、ベトナム戦争で写真家として活躍された岡村昭彦さんと芦屋西教会に来ていただき、当時最先端の「医の倫理」について対談していただいた。1980 年より早稲田大学人間科学部教授。206～11 年恵泉女学園大学学長。他に「幸せの花を咲かせよう。」「山々よ、ぼくらの山よ」など。

ゲストスピーカーの紹介

田辺真人園田学園女子大学名誉教授



ニュージーランド教育省・国立マッセイ大学に勤務。園田学園女子大学教授(歴史学・比較文化論)を経て同大学名誉教授。神戸学院大学客員教授も務める。ラジオ関西「田辺真人のまっこと!ラジオ」、「三上公也の情報アサイチ!」、NHKテレビ「新兵庫史を歩く」などに出演。

2月第2例会議事録抄

とき: 2月25日(水) 18:30~20:00

ところ: 芦屋市民センター 204号室

<出席者> 福原吉孝、五十嵐政二、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、島田 恒、篠坂幸彦、藤田良祐、羽太英樹(9名) 敬称略

<議案>

今後の第1例会予定

・3月第1例会(3月18日(水))

スピーカー: 田辺真人園田学園女子大学名誉教授  
講師の都合により会食の前に講演をお願いする

・4月第1例会(4月15日(水))メンバースピーチ: 上野恭男  
演題: 「日本の新聞の現状」

・5月、6月の例会は、音楽関連、講演など検討。

・さくらまつり(4月4日~5日) 地域奉仕・環境事業担当  
上野ワイズより報告と協力要請があった。場所は昨年同様のステージ正面付近。店番のシフト表を会員にメールで確認する。

・島田 恒ワイズ出版記念講演会・懇親会 4月21日(火) 於: ホテル芦屋竹園、実行委員は福原、柏原各ワイズ、藤田主事と決定。

・六甲部第2回評議会(3月21日(土)) 於: 神戸栄光教会懇親会 於: 兵庫県民会館、出席者: 上野、福原、柏原、桑野、島田、羽太、五十嵐(第1部のみ)各ワイズ。

・神戸クラブメネット会50周年記念会(3月14日)の参加者の確認 参加者: 桑野、柏原、上野、福原各ワイズ、五十嵐かほりメネット

・会計報告 桑野会計の1月の収支決算の報告を了承。

・次期副会長の選出 3月の第2例会までに候補を検討し選出する。

・その他報告

神戸YMCA水野総主事との懇談会に福原会長が出席。  
西日本区大会: ハイアットリージェンシー大阪、アジア地域大会: ウェスティン都ホテル京都への出席促進。

アジア地区大会へ連絡主事が参加を助成企画。

次期会長、主査研修会に五十嵐ワイズ、福原ワイズが出席する。

宝塚ワイズの障がい者アート展協力の件。

六甲部「部則」更改は1クラブ4票の議決権を廃し、会員の三分の一以上の出席で成立、その過半数で議決する案を次回評議会に提案予定。

1. 今井鎮雄名誉顧問のお別れ会開催

2月8日(日)に、ポートピアホテルにおいて、昨年11月3日に召天された今井鎮雄名誉顧問のお別れ会が開催され、約1100名の方々が参加くださいました。YMCAだけでなく、井戸敏三兵庫県知事、久元喜造神戸市長をはじめ行政関係の方々、ロータリークラブの方々、関係諸団体の方々など多数の方々が今井名誉顧問にお別れするために集まってくださいました。

2. 第146回全国YMCA総主事会議報告

・日本YMCA同盟国際青少年センター「東山荘」が今年、開設100周年を迎えることとなり、新しい本館を建設することとなりました。

・2020年に日本でキャンプ活動が開始し100年を迎えることとなり、キャンプ100周年イベントが開催されます。

・事業強化のポイントに「学童保育」があり、全国で参照できるような「学童保育事業スタンダード」が作成されようとしています。

・4月から5つのYMCAで総主事の異動があります。奈良YMCAでは金子司から三枝隆へ、北海道YMCAでは宮崎善昭から秋葉聡志へ、とちぎYMCAでは秋田正人から塩澤達俊へ、ぐんまYMCAでは村上裕介が総主事に就任します。

3. 神戸YMCAサポートプログラム20周年記念シンポジウム開催

2月22日(日)に、西宮ランチでLD(学習障害)児プログラムを開始して20年を迎えることを記念して、標記のイベントが神戸市教育会館大ホールで開催され、約180名の方々が参加。

4. 今後の予定

総主事就任祝福式

井上真二総主事の就任式を下記のように執り行います。是非、ご出席くださり、新総主事の門出を祝し、激励くださいますようお願いいたします。

日時: 4月19日(日)午後3:00~5:30

場所: 日本キリスト教団神戸栄光教会

編集後記

2月は春節、中国の観光客の爆買いで日本は潤ったそうです。YMCA日本語学校で学ぶ留学生は今も寂しい時期でしょうか? 渡辺倫子ワイズのログハウス調レストランがお休みの日に、留学生を招いてポトラックでもてなしてあげたい! そんな気持ちで始めた留学生交流会も、はや10回を数えるとか、驚きです。土佐堀クラブ在籍のとき、2月TOF例会にはワインとパンでの会食を提案、なかのしまクラブ在籍のときは、「クリスチャンもノンクリスチャンも聖書朗読を」と提案し根づいていると聞き嬉しく思います。芦屋の留学生交流会はこれからも神戸YMCAと共に歩み続けることを願います。新聞紙面のニュースは悲しい。13才の少年の涙と声は、川にながされてしまったのか、心を澄まし、聴く耳を持てばメッセージは伝わったかもしれない……。 柏原佳子